

リカバリガイド

このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

目 次

本書をお読みになる前に	2
1. 必要に応じてお読みください	4
ハードディスク構成	4
ディスク作成	6
リカバリ	9
セットアップ	13
2. 補足情報	18
領域設定の変更	18
ハードディスクをご購入時の状態に戻す	21
リカバリ領域の削除 (Windows 7 の場合)	25
リカバリ領域の削除 (Windows Vista の場合)	28

本書のバックアップについて

本書『リカバリガイド』は、ご購入時に C ドライブに格納されています。リカバリなどで C ドライブを削除した場合は、本書のデータも削除され、元に戻りません。事前にバックアップをとることをお勧めします。

このマニュアルは、改善のため変更することがあります。最新のマニュアルは、インターネット上のマニュアル (<http://www.fmwORLD.net/biz/fmv/support/fmvmanual>) からご覧ください。

本書をお読みになる前に

本書の表記

本書の内容は 2011 年 6 月現在のものです。お問い合わせ先や URL などが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください（→『取扱説明書』）。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作
↓
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■本文中の表記と画面表示内容の相違

お使いの OS によって本文中の表記と画面表示内容が異なる場合があります。

例：「コンピューター」（Windows 7 の場合）、「コンピュータ」（Windows Vista の場合）

本書では Windows 7 の画面表示内容で表記しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。

■本書に記載している仕様とお使いの機種との相違について

本文中の説明は、標準仕様に基づいて記載しています。

ご購入時の構成によっては、本文中の説明がお使いの機種の仕様と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

なお、本文内において、機種や OS 別の書き分けがある箇所については、お使いの機種の情報をお読みください。

■「ユーザーアカウント制御」ウィンドウについて

本書で説明している Windows の操作の途中で、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合があります。これは、重要な操作や管理者の権限が必要な操作の前に Windows が表示しているものです。表示されるメッセージに従って操作してください。

■CD/DVD ドライブについて

本書では、DVD-R (4.7GB) に書き込みができる CD/DVD ドライブを搭載していることを前提に記述しています。お使いの機種やモデルによって、書き込みができる CD/DVD ドライブがない場合、別売のポータブル CD/DVD ドライブを接続してください。ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM53)」をお使いください。

- ・本パソコンには、データを DVD に保存するためのソフトウェア「Roxio Creator」がインストールされています。ポータブル CD/DVD ドライブに添付の「Roxio Creator」をインストールする必要はありません。

■製品の呼び方

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記		
ESPRIMO D570/B	ESPRIMO D570 シリーズ	ESPRIMO	本パソコン／パソコン本体
ESPRIMO D550/B、D550/BX、D550/BW	ESPRIMO D550 シリーズ		
ESPRIMO K551/B	ESPRIMO K551 シリーズ		
LIFEBOOK	本パソコン／パソコン本体		
Windows® 7 Professional 64 ビット版	Windows 7（64 ビット版）	Windows 7	Windows
Windows® 7 Professional 32 ビット版	Windows 7（32 ビット版）		
Windows® 7 Home Premium 32 ビット版			
Windows Vista® Business with Service Pack 2 32 ビット版	Windows Vista		
InterVideo WinDVD® for FUJITSU	InterVideo WinDVD for FUJITSU		
Roxio Creator LJ	Roxio Creator		

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。
インテルおよび Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
ATI[™]、ATI Radeon[™]、ATI HyperMemory[™]、ATI Catalyst[™] は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または、登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

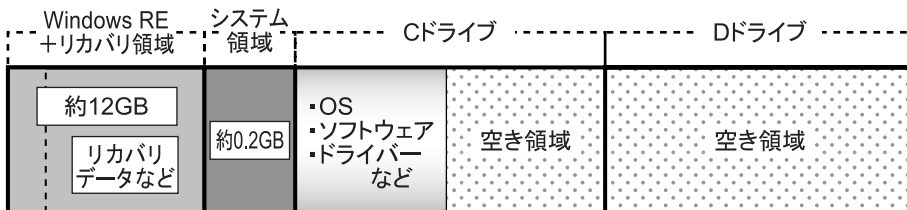
Copyright FUJITSU LIMITED 2010-2011

1. 必要に応じてお読みください

ハードディスク構成

ハードディスクは、システムやリカバリデータなどが格納されている領域や、OS、ソフトウェアやデータなどを格納する C ドライブと D ドライブで構成されています。

Windows 7 のハードディスク構成



POINT

- ▶ 「Windows RE + リカバリ領域」に約 12GB、「システム領域」に約 0.2GB 使用しているため、「コンピューター」に表示されるハードディスクの容量は、「本体仕様」の記載よりも約 12.2GB 少なく表示されます。
- ▶ 「Windows RE + リカバリ領域」と「システム領域」は、Windows からは見えない領域です。

「Windows RE + リカバリ領域」には、次のデータが格納されています。

● 診断プログラム

Windows が正常に起動できない場合に本パソコンを診断します。

「診断プログラム」については、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

● トラブル解決ナビ

リカバリの実行やハードウェアなどの診断をするソフトウェアです。リカバリについては、「リカバリ」(→ P.9) をご覧ください。

● 「トラブル解決ナビ&ドライバズディスク [リカバリ起動ディスク]」のイメージ

本パソコンにトラブルが起こったときに使用する起動ディスクや、ソフトウェアのインストール、再インストールするときに使用するディスクのイメージです。

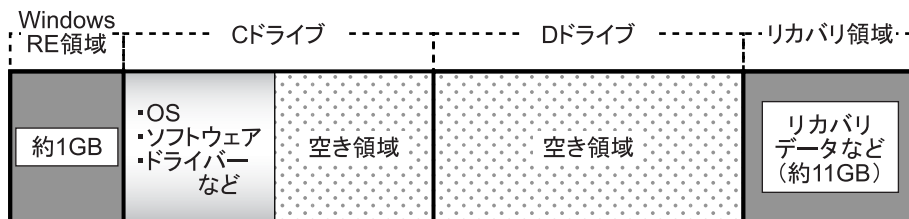
● Windows 7 のリカバリデータ

本パソコンにトラブルが起こったときに C ドライブをご購入時に戻すときに使用します。

● 「InterVideo WinDVD for FUJITSU」のイメージ (DVD-ROM / スーパーマルチドライブ搭載機種)

DVD を再生するソフトウェアのインストールディスクのイメージです。

Windows Vista のハードディスク構成



POINT

- ▶ 「Windows RE 領域」に約 1GB、「リカバリ領域」に約 11GB 使用しているため、「コンピュータ」に表示されるハードディスクの容量は、「本体仕様」の記載よりも約 12GB 少なく表示されます。
- ▶ 「Windows RE 領域」と「リカバリ領域」は、Windows からは見えない領域です。

「Windows RE 領域」には、次のデータが格納されています。

● 診断プログラム

Windows が正常に起動できない場合に本パソコンを診断します。

「診断プログラム」については、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

● トラブル解決ナビ

リカバリの実行やハードウェアなどの診断をするソフトウェアです。リカバリについては、「リカバリ」(→ P.9) をご覧ください。

「リカバリ領域」には、次のデータが格納されています。

● 「トラブル解決ナビ&ドライバズディスク [リカバリ起動ディスク]」のイメージ

本パソコンにトラブルが起こったときに使用する起動ディスクや、ソフトウェアのインストール、再インストールするときに使用するディスクのイメージです。

● Windows Vista のリカバリデータ

本パソコンにトラブルが起こったときに C ドライブをご購入時に戻すときに使用します。

● 「InterVideo WinDVD for FUJITSU」のイメージ (DVD-ROM / スーパーマルチドライブ搭載機種)

DVD を再生するソフトウェアのインストールディスクのイメージです。

ディスク作成

「Windows RE +リカバリ領域」または「リカバリ領域」にトラブルがあった場合、リカバリができなくなります。その場合に備えて、格納されているデータを DVD-R にコピーしておくで安心です。

重要

▶ 本パソコンをご購入後、お手元にディスクがない場合は、できるだけ早くディスクを作成してください。

ディスク作成の考え方

本パソコンにトラブルがあった場合に備えて、またはご購入時にインストールされていないソフトウェアを使用する場合に、次のディスクが必要になります。

「Windows RE +リカバリ領域」または「リカバリ領域」に格納されているデータから、次のディスクを作成します。

●リカバリデータディスク

ハードディスクをご購入時の状態に戻す場合に使用します。また、C ドライブをリカバリするときに、「リカバリデータディスク」からリカバリを実行することもできます。

●トラブル解決ナビ&ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]

ソフトウェアやドライバをインストールする場合またはハードディスクをご購入時の状態に戻す場合に使用します。領域設定を変更したり、リカバリ領域を削除したりする場合にも使用します。

重要

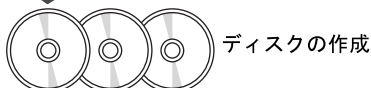
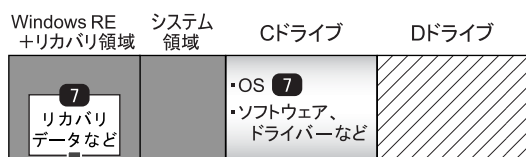
▶ ご購入時に添付されているすべてのソフトウェアやドライバは、富士通製品情報ページ内にある「ダウンロード」(http://www.fmwORLD.net/biz/fmv/index_down.html) に公開されていません。

添付のソフトウェアやドライバをインストールしたい場合は、「トラブル解決ナビ&ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]」を作成してください。

●「InterVideo WinDVD for FUJITSU」ディスク (DVD-ROM /スーパーマルチドライブ搭載機種)

DVD 再生ソフト「InterVideo WinDVD for FUJITSU」が格納されています。DVD を再生するときに必要なソフトウェアです。

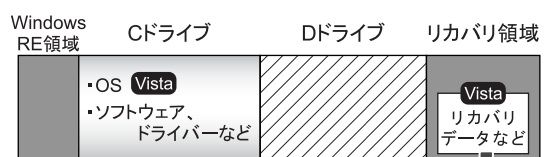
■Windows 7 の場合



■ : Windowsからは見えない領域です。

7 : Windows 7

■Windows Vista の場合



■ : Windowsからは見えない領域です。

Vista : Windows Vista

ディスク作成前の準備

ディスクを作成する前に、次の準備を行ってください。

■型名を確認する

作成したディスクのレーベル面に記入します。あらかじめ、保証書などで本パソコンの型名を確認してください。

■AC アダプタを接続する（LIFEBOOK の場合）

ディスクを作成するときには、必ず AC アダプタを接続してください。

■ディスクを用意する

●お使いになれるディスク

DVD-R（4.7GB）が必要です。その他のディスクはお使いになれません。

●推奨ディスク

インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

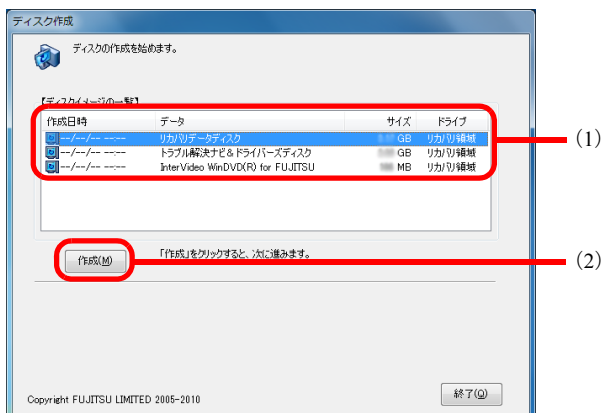
●必要なディスクの枚数

必要なディスクの枚数は、「ディスクを作成する」の手順 3（→ P.7）で確認できます。

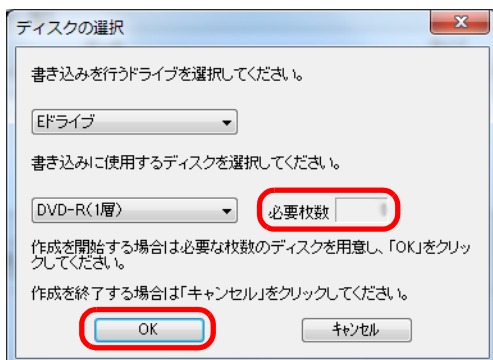
ディスクを作成する

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ディスク作成」の順にクリックします。

2 (1) 作成したいディスクにあわせて項目をクリックし、(2) 「作成」をクリックします。



3 ディスクの必要枚数を確認し、「OK」をクリックします。



「作成を開始しますか？」というメッセージが表示されます。

4 画面の指示に従って、未使用のディスクのレーベル面にディスクの名前と機種名（型名）を記入します。

 POINT

▶ レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆など、先の硬いものを使わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。

5 手順4で名前を記入したディスクをセットします。

 POINT

▶ 「自動再生」ウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

6 「はい」をクリックします。

ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

 POINT

▶ 「未使用のディスクをセットしてから「OK」をクリックしてください。」と表示された場合、未使用のディスクがセットされていることを確認し「OK」をクリックしてください。

7 「ディスクへの書き込みが終了しました」と表示されたら、「OK」をクリックします。

■ 複数枚のディスクを作成する場合

1枚目の書き込みが完了したら、続けて次のディスクを作成します。手順4～手順6を繰り返し、枚数分を作成してください。

 POINT

▶ 書き込みエラーが表示された場合

「ディスクの作成に失敗しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックしてください。「ディスク作成」ウィンドウに戻ります。

ディスクの不良が考えられますので、新しいディスクを用意し、手順2から操作し直してください。なお、複数枚のディスクを作成している途中でエラーが出た場合は、途中から作成できます。

手順6で、作成し直したいディスクの枚数「n 枚目」が表示されるまで「いいえ」をクリックして、ディスクの作成を続けてください。

8 「選択したディスクの作成が終了しました。」と表示されたら、ディスクを取り出し、「OK」をクリックします。

続けて他のディスクを作成する場合は、手順2に戻り、作成したいディスクの選択から行ってください。

9 「終了」をクリックします。

以上でディスクの作成は終了です。作成したディスクは、大切に保管してください。

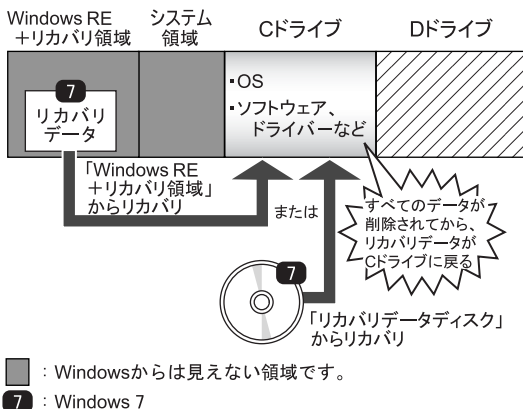
リカバリ

本パソコンの C ドライブを、ご購入時の状態に戻すリカバリの方法を説明します。
Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、リカバリを行います。

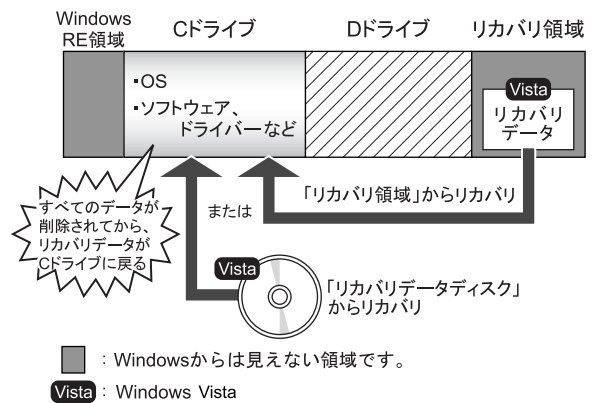
リカバリの考え方

リカバリとは、C ドライブの OS、ドライバーなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態に戻す操作です。
ハードディスクの領域は現在お使いの状態のまま、C ドライブのみご購入時の状態に戻します。「リカバリ領域」または「リカバリデータディスク」のリカバリデータを C ドライブに戻します。
C ドライブ以外のデータは変更されません。

■Windows 7 の場合



■Windows Vista の場合



注意事項

- トラブル解決ナビの「領域設定」以外でドライブ構成を変更している場合は、リカバリを実行できません。
また、ダイナミックディスクや拡張パーティションなどを作成した場合もリカバリを実行できません。
その場合は、ハードディスクをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「ハードディスクをご購入時の状態に戻す」(→P.21)をご覧ください。
- リカバリを行うと、C ドライブのすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。
- セキュリティチップ搭載機種でフォルダーやファイルの暗号化を行っている場合は、リカバリ前に復元用のバックアップをとってください。復元用のバックアップデータがないと、データが読み出せないことがあります。これによる損害などの責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
詳しくは、インターネット上のマニュアル『SMARTACCESS ファーストステップガイド (認証デバイスをお使いになる方へ)』をご覧ください。
- パソコン本体に USB メモリ、外付けハードディスクなどを接続している場合は、必ず取り外してください。また、その他の周辺機器を取り付けている場合も、取り外してからリカバリを実行してください。
- リカバリを実行しセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- リカバリでは元に戻らないソフトウェアがあります。リカバリが終了してからインストールしてください。
- キーボードおよびマウス (フラットポイント) で操作してください。
- リカバリには時間がかかります。時間に余裕をもって、操作してください。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の準備を行ってください。

■AC アダプタを接続する（LIFEBOOK の場合）

リカバリを実行するときには、必ず AC アダプタを接続してください。

■BIOS 設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時から変更している場合、ご購入時の状態に戻します。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

■必要に応じてディスクを用意する

●リカバリデータディスク

リカバリデータディスクからリカバリを行う場合に必要です。

リカバリを実行する

重要

▶ C ドライブのすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。

1 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【F12】キーを押します。

起動メニューまたは Boot Menu が表示されます。

POINT

▶ 起動メニューまたは Boot Menu が表示されず Windows が起動してしまった場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。「FUJITSU」ロゴが表示されない場合は、再起動後、起動メニューまたは Boot Menu が表示されるまで【F12】キーを何度か押してください。

2 【↑】キーまたは【↓】キーを押して「トラブル解決ナビ」または「Recovery and Utility」を選択し、【Enter】キーを押します。そのまましばらくお待ちください。「システム回復オプション」が表示されます。

Windows 7（64 ビット版）の場合は、手順 7 へ進んでください。

POINT

▶ 「システム回復オプション」が表示されるまでの間、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。

3 「Microsoft IME」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

オペレーティングシステムを選択する画面が表示されます。

4 「Windows の起動に伴う問題の修復用の回復ツールを使用します」を選択し、「次へ」をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

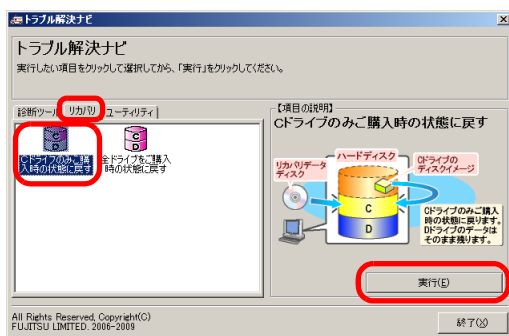
5 お使いのパソコンで設定しているユーザー名を選択してパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

パスワードを設定していない場合は、何も入力せず「OK」をクリックします。

6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「トラブル解決ナビ」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」が表示されます。

- 7 「リカバリ」タブの「Cドライブのみご購入時の状態に戻す」を選択し、「実行」をクリックします。

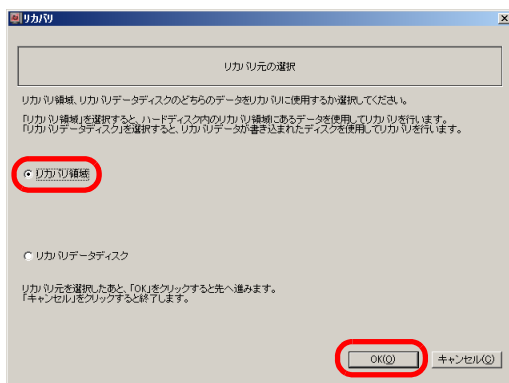


(画面は Windows 7 の例です)

「ご使用上の注意」が表示されます。

- 8 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「リカバリ元の選択」画面が表示されます。

- 9 「リカバリ領域」をクリックし、「OK」をクリックします。



POINT

▶ リカバリデータディスクを使用する場合

「リカバリデータディスク」をクリックし、「OK」をクリックしてください。その後は、表示されるメッセージに従って操作してください。

「リカバリが正常に完了しました。」というメッセージが表示されたら、「リカバリデータディスク」を取り出し、手順 11 に進んでください。

「警告」画面が表示されます。

- 10 「OK」をクリックします。

「リカバリ」画面が表示され、リカバリが始まります。

リカバリが終了すると、「リカバリが正常に完了しました。」というメッセージが表示されます。

11 「完了」をクリックします。

本パソコンの電源が自動的に切れます。

■ ポータブル CD/DVD ドライブを接続している場合

ポータブル CD/DVD ドライブを取り外します。

12 30 秒以上待ってから電源を入れます。

13 セットアップを行います。

詳しくは、「セットアップ」(→ P.13) をご覧ください。

以上でリカバリは終了です。

セットアップ

注意事項（ESPRIMO の場合）

- セットアップが完了（「必ず実行してください」を実行）するまでは、次のものを接続しないでください。セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。
 - ・ 周辺機器
 - ・ LAN ケーブル
 - ・ 拡張カード
- タッチパネル搭載機種の場合、タッチパネルでセットアップの操作はできません。キーボードおよびマウスで操作してください。
- セットアップ中は、電源を切らないでください。
- Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが完全に行われなかった場合があります。ウィンドウが完全に表示された後から、キーボードまたはマウスで操作してください。
- Windows セットアップが進められなくなった場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して、本パソコンの電源を一度切り、セットアップをやり直してください。セットアップがやり直せない場合は、リカバリを行ってください。リカバリについては、「リカバリ」（→ P.9）をご覧ください。
- Windows セットアップの途中で、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示された場合は、お使いのディスプレイに合わせたドライバーをインストールしてください。

■ 次の手順に従ってセットアップする

□ ESPRIMO D570、D550 シリーズの場合

「セットアップする（ESPRIMO D570、D550 シリーズの場合）」（→ P.15）に進んでください。

□ ESPRIMO K551 シリーズの場合

「セットアップする（ESPRIMO K551 シリーズ、LIFEBOOK の場合）」（→ P.14）に進んでください。

注意事項（LIFEBOOK の場合）

- セットアップする前に、必ず AC アダプタを接続してください。
- セットアップが完了（「必ず実行してください」を実行）するまでは、次のものを接続しないでください。セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。
 - ・ 周辺機器
 - ・ LAN ケーブル
- セットアップは、キーボードおよびフラットポイント（マウス）で操作してください。
- セットアップ中は、電源を切らないでください。
- Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが完全に行われなかった場合があります。ウィンドウが完全に表示された後から、キーボードおよびフラットポイント（マウス）で操作してください。
- Windows セットアップが進められなくなった場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して、本パソコンの電源を一度切り、セットアップをやり直してください。セットアップがやり直せない場合は、リカバリを行ってください。リカバリについては、「リカバリ」（→ P.9）をご覧ください。

■ 次の手順に従ってセットアップする

「セットアップする（ESPRIMO K551 シリーズ、LIFEBOOK の場合）」（→ P.14）に進んでください。

セットアップする (ESPRIMO K551 シリーズ、LIFEBOOK の場合)

1 本パソコンの電源を入れます。

画面に「FUJITSU」ロゴが表示され、自己診断 (POST) が始まります。

OS によっては、画面が表示されるまで、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。

自己診断 (POST) が終わると「Windows のセットアップ」画面が表示されます。

2 メッセージに従って操作します。

途中に、ユーザー名、パスワード、およびコンピューター名を入力する画面が表示されます。

入力可能な文字と文字数は、次のとおりです。

- ・ユーザー名
 - ・ Windows 7 の場合：12 文字以内の半角英数字 (a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9)。数字は、英字と組み合わせて使用します。
 - ・ Windows Vista の場合：半角英数字 (a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9)。
- ・ パスワード：半角英数字 (a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9)。大文字、小文字は区別されます。
- ・ コンピューター名：ここでは変更せず、セットアップの終了後に変更してください。

Windows セットアップが完了すると、「必ず実行してください」ウィンドウが表示されます。

3 「必ず実行してください」ウィンドウの内容を確認し、「実行する」をクリックします。

4 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」または「続行」をクリックします。

最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

再起動メッセージが表示されるまで、キーボードやマウス（フラットポイント）を操作しないでください。

5 「OK」をクリックします。

本パソコンが再起動し、パスワードの入力画面が表示されます。

6 設定したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

Windows が起動します。

これで、セットアップが完了しました。この後は、『取扱説明書』をご覧ください。セットアップの後に必要な操作を行ってください。

セットアップする (ESPRIMO D570、D550 シリーズの場合)

1 本パソコンの電源を入れます。

画面に「FUJITSU」ロゴが表示され、自己診断 (POST) が始まります。

OS によっては、画面が表示されるまで、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。

自己診断 (POST) が終わると「Windows のセットアップ」画面が表示されます。

2 メッセージに従って操作します。

途中に、ユーザー名、パスワード、およびコンピューター名を入力する画面が表示されます。

入力可能な文字と文字数は、次のとおりです。

- ・ ユーザー名
 - ・ Windows 7 の場合：12 文字以内の半角英数字 (a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9)。数字は、英字と組み合わせて使用します。
 - ・ Windows Vista の場合：半角英数字 (a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9)。
- ・ パスワード：半角英数字 (a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9)。大文字、小文字は区別されます。
- ・ コンピューター名：ここでは変更せず、セットアップの終了後に変更してください。

Windows セットアップが完了すると、「必ず実行してください」ウィンドウが表示されます。

3 「必ず実行してください」ウィンドウの内容を確認し、「実行する」をクリックします。

4 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」または「続行」をクリックします。

最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

再起動メッセージが表示されるまで、キーボードやマウスを操作しないでください。

5 「OK」をクリックします。

本パソコンが再起動し、パスワードの入力画面が表示されます。

6 設定したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

Windows が起動します。

■ ESPRIMO D570 シリーズの場合

- ・ 24 時間モデル以外の場合

これで、セットアップが完了しました。この後は、『取扱説明書』をご覧ください。セットアップの後に必要な操作を行ってください。

- ・ 24 時間モデルの場合

「お手入れナビ」をインストールする必要があります。「トラブル解決ナビ&ドライバズディスク [リカバリ起動ディスク]」を用意して、手順 13 へ進んでください。

■ ESPRIMO D550 シリーズの場合

ディスプレイドライバーをインストールする必要があります。次の手順へ進んでください。

7 「トラブル解決ナビ&ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]」をセットします。

「ドライバーズディスク検索」が起動します。

POINT

- ▶ 「トラブル解決ナビ&ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]」がお手元にはない場合は、「ディスク作成」(→ P.6) をご覧になり、作成してください。
- ▶ 「トラブル解決ナビ&ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]」をセットすると、「自動再生」ウィンドウが表示されることがあります。その場合は、「メディアからのプログラムのインストール/実行」または「プログラムのインストール/実行」の「DRVCDSRC.exeの実行」を選択してください。

8 お使いの機種と OS を選択し、「種別」に「ディスプレイ」を選択します。

9 お使いのディスプレイドライバーを選択します。

■ グラフィックスカードなしの場合

「インテル4 シリーズ ディスプレイドライバー」をクリックします。

■ グラフィックスカード搭載機種の場合

「ATI Radeon ディスプレイドライバー」をクリックします。

10 フォルダー内のテキストファイルに従って、ディスプレイドライバーをインストールします。

ディスプレイドライバーのインストール完了後、本パソコンが再起動します。

POINT

- ▶ ドライバーのインストール前に「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示される場合があります。この場合は「キャンセル」をクリックしてください。

11 設定したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

Windows が起動します。

12 ディスクを取り出します。

■ 24 時間モデル以外の場合

これで、セットアップが完了しました。この後は、『取扱説明書』をご覧になり、セットアップの後に必要な操作を行ってください。

■ 24 時間モデルの場合

「お手入れナビ」をインストールする必要があります。次の手順へ進んでください。

13 「トラブル解決ナビ&ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]」をセットします。

「ドライバーズディスク検索」が起動します。

POINT

- ▶ 「トラブル解決ナビ&ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]」をセットすると、「自動再生」ウィンドウが表示されることがあります。その場合は、「メディアからのプログラムのインストール/実行」または「プログラムのインストール/実行」の「DRVCDSRC.exeの実行」を選択してください。

- 14** 「機種名」に「Dnnn/B (24 時間モデル)」を選択し、お使いの OS を選択後、「種別」に「ユーティリティ」を選択します。
nnn：品名の数字です。
- 15** 「お手入れナビ」をクリックします。
- 16** フォルダー内のテキストファイルに従って「お手入れナビ」をインストールします。
「お手入れナビ」のインストールの完了後、本パソコンが再起動します。
- 17** 設定したパスワードを入力し、「→」をクリックします。
Windows が起動します。
- 18** ディスクを取り出します。

これで、セットアップが完了しました。この後は、『取扱説明書』をご覧になり、セットアップの後に必要な操作を行ってください。

2. 補足情報

領域設定の変更

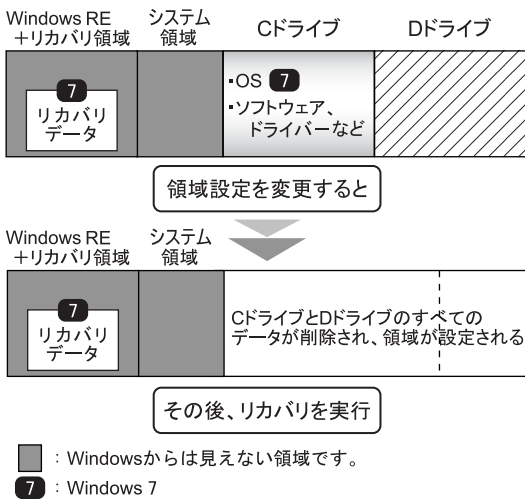
ハードディスクの C ドライブと D ドライブの領域を変更したり、1 区画にしたりできます。

注意事項

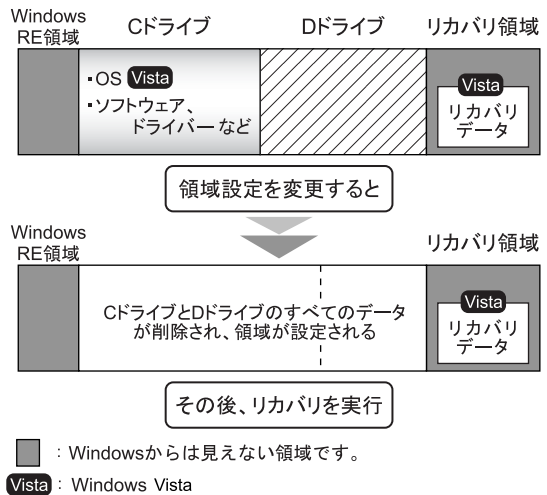
- 領域設定の変更を行うと、C ドライブと D ドライブのすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。
「Windows RE + リカバリ領域」、「システム領域」、「Windows RE 領域」、「リカバリ領域」のデータは削除されません。
- トラブル解決ナビの「領域設定」以外でドライブ構成を変更している場合は、領域設定を変更できません。
また、ダイナミックディスクや拡張パーティションなどを作成した場合も領域設定を変更できません。
その場合は、ハードディスクをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「ハードディスクをご購入時の状態に戻す」(→ P.21) をご覧ください。
- トラブル解決ナビの「領域設定」以外で、ドライブ構成を変更する場合、「Windows RE 領域」は削除しないでください。
- パソコン本体に USB メモリ、外付けハードディスクなどを接続している場合は、必ず取り外してください。また、その他の周辺機器を取り付けている場合も、取り外してから領域設定の変更を行ってください。
- キーボードおよびマウス（フラットポイント）で操作してください。

領域設定の考え方

■Windows 7 の場合



■Windows Vista の場合



領域設定を変更する前の準備

領域設定を変更する前に、次の準備を行ってください。

■AC アダプタを接続する（LIFEBOOK の場合）

領域設定を変更するときには、必ず AC アダプタを接続してください。

■BIOS 設定を購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時から変更している場合、ご購入時の状態に戻します。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

領域設定を変更する

- 1 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【F12】キーを押します。

起動メニューまたは Boot Menu が表示されます。

POINT

- ▶ 起動メニューまたは Boot Menu が表示されず Windows が起動してしまった場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。「FUJITSU」ロゴが表示されない場合は、再起動後、起動メニューまたは Boot Menu が表示されるまで【F12】キーを何度か押してください。

- 2 【↑】キーまたは【↓】キーを押して「トラブル解決ナビ」または「Recovery and Utility」を選択し、【Enter】キーを押します。

そのまましばらくお待ちください。

「システム回復オプション」が表示されます。

Windows 7（64 ビット版）の場合は、手順 7 へ進んでください。

POINT

- ▶ 「システム回復オプション」が表示されるまでの間、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。

- 3 「Microsoft IME」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

オペレーティングシステムを選択する画面が表示されます。

- 4 「Windows の起動に伴う問題の修復用の回復ツールを使用します」を選択し、「次へ」をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

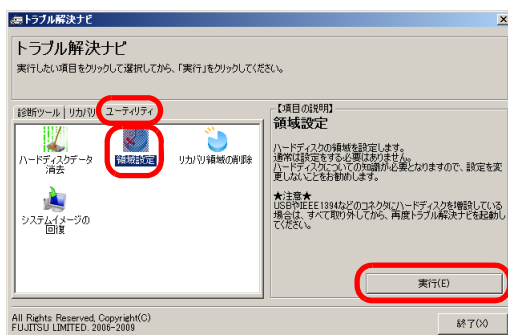
- 5 お使いのパソコンで設定しているユーザー名を選択してパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

パスワードを設定していない場合は、何も入力せず「OK」をクリックします。

- 6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「トラブル解決ナビ」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」が表示されます。

- 7 「ユーティリティ」タブの「領域設定」を選択し、「実行」をクリックします。



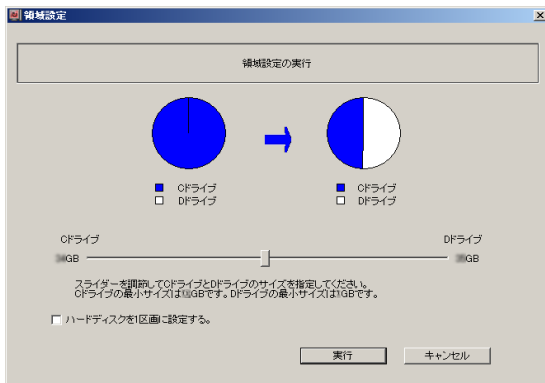
（画面は Windows 7 の例です）

「ご使用上の注意」が表示されます。

- 8 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「領域設定の実行」画面が表示されます。

9 領域を設定します。



■ CドライブとDドライブ（2区画）を作成する場合

スライダーを左右にドラッグしてCドライブとDドライブの容量を指定します。容量は1GB単位で設定できます。

■ Cドライブのみ（1区画）を作成する場合

「ハードディスクを1区画に設定する。」にチェックを付けます。

10 「実行」をクリックします。

確認画面が表示されます。

重要

▶ 領域設定を変更していなくても、「実行」をクリックするとCドライブとDドライブのすべてのデータが削除されます。

11 「はい」をクリックします。

領域の設定が始まります。

領域の設定が完了すると、「領域設定の完了」画面が表示されます。

12 「完了」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」が表示されます。

以上で領域設定の変更は終了です。この後リカバリを行う場合は、「リカバリ」（→ P.9）をご覧ください。

ハードディスクをご購入時の状態に戻す

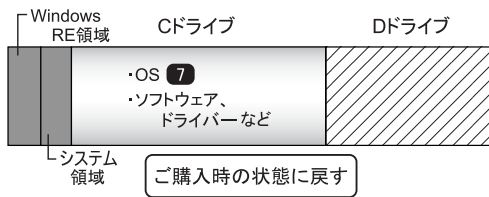
リカバリ領域を消してしまった場合などに、ハードディスクをご購入時の状態に戻すことができます。

注意事項

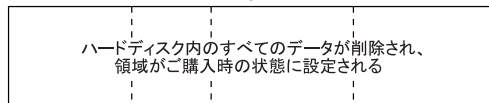
- ハードディスクをご購入時の状態に戻すと、ハードディスクのすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。
- セキュリティチップ搭載機種でフォルダーやファイルの暗号化を行っている場合は、ハードディスクをご購入時の状態に戻す前に復元用のバックアップをとってください。復元用のバックアップデータがないと、データが読み出せないことがあります。これによる損害などの責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
詳しくは、インターネット上のマニュアル『SMARTACCESS ファーストステップガイド（認証デバイスをお使いになる方へ）』をご覧ください。
- パソコン本体に USB メモリ、外付けハードディスクなどを接続している場合は、必ず取り外してください。また、その他の周辺機器を取り付けている場合も、取り外してからハードディスクをご購入時の状態に戻してください。
- ハードディスクをご購入時の状態に戻し、セットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- ハードディスクをご購入時の状態に戻すを実行しても、元に戻らないソフトウェアがあります。ハードディスクをご購入時の状態に戻した後、インストールしてください。
- キーボードおよびマウス（フラットポイント）で操作してください。
- ハードディスクをご購入時の状態に戻すには時間がかかります。時間に余裕をもって、操作してください。

ハードディスクをご購入時に戻すの考え方

■Windows 7 の場合



ご購入時の状態に戻す



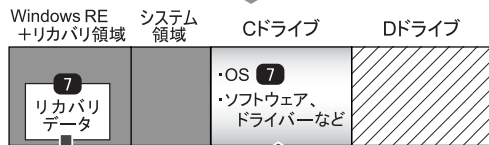
「Windows RE+リカバリ領域」にリカバリデータを戻す



「リカバリデータディスク」からリカバリデータを戻す



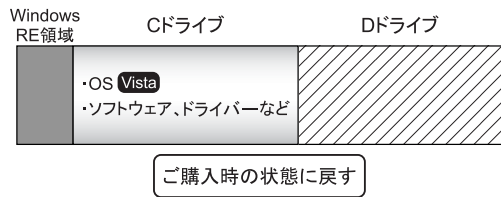
その後、リカバリを実行



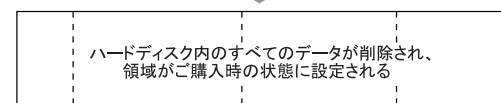
「Windows RE+リカバリ領域」からリカバリ

■ : Windowsからは見えない領域です。
7 : Windows 7

■Windows Vista の場合



ご購入時の状態に戻す



「リカバリ領域」にリカバリデータを戻す



「リカバリデータディスク」からリカバリデータを戻す



その後、リカバリを実行



「リカバリ領域」からリカバリ

■ : Windowsからは見えない領域です。
Vista : Windows Vista

ハードディスクをご購入時の状態に戻す前の準備

ハードディスクをご購入時の状態に戻す前に、次の準備を行ってください。

■AC アダプタを接続する（LIFEBOOK の場合）

ハードディスクをご購入時の状態に戻すときには、必ず AC アダプタを接続してください。

■BIOS 設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時から変更している場合、ご購入時の状態に戻します。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

■ディスクを用意する

- トラブル解決ナビ & ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]
- リカバリデータディスク
- 「InterVideo WinDVD for FUJITSU」ディスク（DVD-ROM / スーパーマルチドライブ搭載機種）

ハードディスクをご購入時の状態に戻す

重要

▶ ハードディスク内のすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。

- 1 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【F12】キーを押します。

起動メニューまたは Boot Menu が表示されます。

POINT

▶ 起動メニューまたは Boot Menu が表示されず Windows が起動してしまった場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。「FUJITSU」ロゴが表示されない場合は、再起動後、起動メニューまたは Boot Menu が表示されるまで【F12】キーを何度か押してください。

- 2 「トラブル解決ナビ&ドライバズディスク [リカバリ起動ディスク]」をセットします。

- 3 データの読み出しが終了し、CD/DVD ドライブが停止してから、【↑】キーまたは【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」または「CD/DVD」を選択し、【Enter】キーを押します。

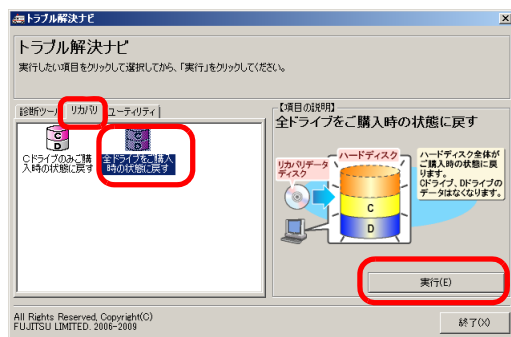
そのまましばらくお待ちください。

「トラブル解決ナビ」が表示されます。

POINT

▶ 「トラブル解決ナビ」が表示されるまでの間、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。

- 4 「リカバリ」タブの「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を選択し、「実行」をクリックします。



(画面は Windows 7 の例です)

「ご使用上の注意」が表示されます。

- 5 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

- 6 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、

1. ディスクの確認
2. ハードディスクの領域を設定する
3. リカバリ領域にリカバリデータを復元する
4. リカバリを実行する

の順に進めます。画面のメッセージで指定されたディスクをセットして、操作を進めてください。

「リカバリが正常に完了しました。」というメッセージが表示されたら手順7に進んでください。

7 ディスクを取り出し、「完了」をクリックします。

本パソコンの電源が自動的に切れます。

■ ポータブル CD/DVD ドライブを接続している場合

ポータブル CD/DVD ドライブを取り外します。

8 30 秒以上待ってから電源を入れます。

9 セットアップを行います。

詳しくは、「セットアップ」(→ P.13) をご覧ください。

以上でハードディスクをご購入時に戻す操作は終了です。

リカバリ領域の削除（Windows 7 の場合）

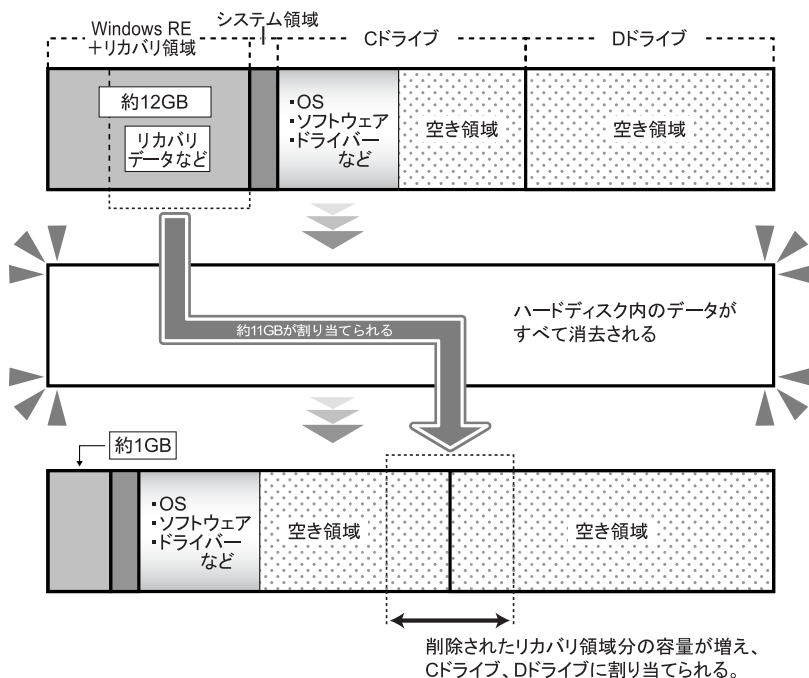
注意事項

- リカバリ領域を削除すると、リカバリ領域のほかに、領域設定を変更し直すため C ドライブと D ドライブのすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。
- リカバリ領域を削除すると、リカバリ領域に格納されているデータが消えてしまいます。リカバリ領域を削除する前に、必ずリカバリ領域にあるデータから次のディスクを作成してください。
 - ・トラブル解決ナビ & ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]
 - ・ Windows 7 のリカバリデータディスク
 - ・「InterVideo WinDVD for FUJITSU」ディスク（DVD-ROM / スーパーマルチドライブ搭載機種）ディスクの作成方法については、「ディスク作成」（→ P.6）をご覧ください。
- セキュリティチップ搭載機種でフォルダーやファイルの暗号化を行っている場合は、リカバリ領域を削除する前に復元用のバックアップをとってください。復元用のバックアップデータがないと、データが読み出せないことがあります。これによる損害などの責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。詳しくは、インターネット上のマニュアル『SMARTACCESS ファーストステップガイド（認証デバイスをお使いになる方へ）』をご覧ください。
- パソコン本体に USB メモリ、外付けハードディスクなどを接続している場合は、必ず取り外してください。また、その他の周辺機器を取り付けている場合も、取り外してからリカバリ領域を削除してください。
- リカバリ領域を削除しセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- リカバリ領域を削除しリカバリを実行しても、元に戻らないソフトウェアがあります。リカバリを実行した後、インストールしてください。
- キーボードおよびマウス（フラットポイント）で操作してください。
- リカバリ領域を削除するには時間がかかります。時間に余裕をもって、操作してください。

リカバリ領域の削除の考え方

リカバリ領域を削除することで、C ドライブ、D ドライブの容量を増やすことができます。

「Windows RE + リカバリ領域」内にあるリカバリ領域部分（約 11GB）が、C ドライブ、D ドライブに割り当てられます。



リカバリ領域を削除する前の準備

リカバリ領域を削除する前に、次の準備を行ってください。

■AC アダプタを接続する（LIFEBOOK の場合）

リカバリ領域を削除するときには、必ず AC アダプタを接続してください。

■BIOS 設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時から変更している場合、ご購入時の状態に戻します。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

■ディスクを用意する

- トラブル解決ナビ & ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]
- Windows 7 のリカバリデータディスク
- 「InterVideo WinDVD for FUJITSU」ディスク（DVD-ROM / スーパーマルチドライブ搭載機種）

重要

- ▶ お手元に上記のディスクがない場合には、リカバリ領域を削除する前に、必ずディスクを作成してください。作成方法については「ディスク作成」（→ P.6）をご覧ください。

リカバリ領域を削除する

重要

- ▶ リカバリ領域を削除すると、ハードディスクのすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。

- 1 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【F12】キーを押します。
起動メニューまたは Boot Menu が表示されます。

POINT

- ▶ 起動メニューまたは Boot Menu が表示されず Windows が起動してしまった場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。「FUJITSU」ロゴが表示されない場合は、再起動後、起動メニューまたは Boot Menu が表示されるまで【F12】キーを何度か押してください。

- 2 「トラブル解決ナビ & ドライバズディスク [リカバリ起動ディスク]」をセットします。

- 3 データの読み出しが終了し、CD/DVD ドライブが停止してから、【↑】キーまたは【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」または「CD/DVD」を選択し、【Enter】キーを押します。
そのまましばらくお待ちください。「トラブル解決ナビ」が表示されます。

POINT

- ▶ 「トラブル解決ナビ」が表示されるまでの間、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。

- 4 「ユーティリティ」タブの「リカバリ領域の削除」を選択し、「実行」をクリックします。
「ご使用上の注意」が表示されます。

- 5 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

- 6 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、

1. ディスクの確認
2. ハードディスクの領域を設定する
3. リカバリを実行する

の順に進めます。画面のメッセージで指定されたディスクをセットして、操作を進めてください。

「リカバリが正常に完了しました。」というメッセージが表示されたら手順 7 に進んでください。

- 7 ディスクを取り出し、「完了」をクリックします。

本パソコンの電源が自動的に切れます。

- ポータブル CD/DVD ドライブを接続している場合
ポータブル CD/DVD ドライブを取り外します。

- 8 30 秒以上待つてから電源を入れます。

- 9 セットアップを行います。

詳しくは、「セットアップ」(→ P.13) をご覧ください。

- 10 「スタート」ボタン→「コンピューター」の順にクリックし、C ドライブ、D ドライブの容量が増えていることを確認します。

リカバリ領域の削除 (Windows Vista の場合)

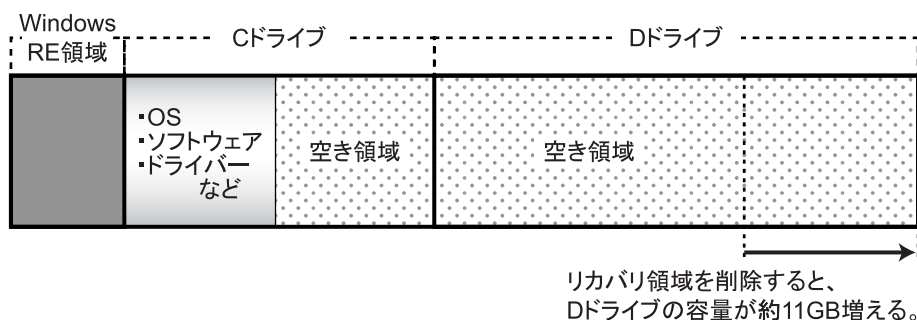
注意事項

- リカバリ領域を削除すると、リカバリ領域に格納されているすべてのデータが消えてしまいます。リカバリ領域を削除する前に、必ずリカバリ領域にあるデータから次のディスクを作成してください。
 - ・ トラブル解決ナビ & ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]
 - ・ Windows Vista のリカバリデータディスク
 - ・ 「InterVideo WinDVD for FUJITSU」ディスク (DVD-ROM / スーパーマルチドライブ搭載機種)ディスクの作成方法については、「ディスク作成」(→ P.6) をご覧ください。
- パソコン本体に USB メモリ、外付けハードディスクなどを接続している場合は、必ず取り外してください。また、その他の周辺機器を取り付けている場合も、取り外してからリカバリ領域を削除してください。
- キーボードおよびマウス (フラットポイント) で操作してください。

リカバリ領域の削除の考え方

リカバリ領域を削除することで、D ドライブの容量を増やすことができます。

リカバリ領域の削除はリカバリ領域のデータのみ削除するため、C ドライブ、D ドライブのデータは残ります。



重要

- ▶ 「Windows RE 領域」は削除しないでください。

リカバリ領域を削除する前の準備

リカバリ領域を削除する前に、次の準備を行ってください。

■ AC アダプタを接続する (LIFEBOOK の場合)

リカバリ領域を削除するときには、必ず AC アダプタを接続してください。

■ ディスクを用意する

- トラブル解決ナビ & ドライバーズディスク [リカバリ起動ディスク]

重要

- ▶ お手元に上記のディスクがない場合には、リカバリ領域を削除する前に、必ずディスクを作成してください。作成方法については「ディスク作成」(→ P.6) をご覧ください。

リカバリ領域を削除する

- 1 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【F12】キーを押します。

起動メニューまたは Boot Menu が表示されます。

POINT

- ▶ 起動メニューまたは Boot Menu が表示されず Windows が起動してしまった場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。「FUJITSU」ロゴが表示されない場合は、再起動後、起動メニューまたは Boot Menu が表示されるまで【F12】キーを何度か押してください。

- 2 「トラブル解決ナビ & ドライバースディスク [リカバリ起動ディスク]」をセットします。

- 3 データの読み出しが終了し、CD/DVD ドライブが停止してから、【↑】キーまたは【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」または「CD/DVD」を選択し、【Enter】キーを押します。

そのまましばらくお待ちください。「トラブル解決ナビ」が表示されます。

POINT

- ▶ 「トラブル解決ナビ」が表示されるまでの間、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。

- 4 「ユーティリティ」タブの「リカバリ領域の削除」を選択し、「実行」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

- 5 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「削除の確認」が表示されます。

- 6 「OK」をクリックします。

リカバリ領域が削除され、「削除の完了」と表示されます。

- 7 「完了」をクリックします。

以上の手順で、リカバリ領域が削除されました。

- 8 「終了」をクリックします。

- 9 ディスクを取り出し「再起動」をクリックします。

- 10 「スタート」ボタン→「コンピュータ」の順にクリックし、D ドライブの容量が増えていることを確認します。

ESPRIMO LIFEBOOK

リカバリガイド
B6FJ-5211-02 Z0-00

発行日 2011 年 7 月
発行責任 富士通株式会社

-
- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
 - このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
 - 無断転載を禁じます。